

2016年10月3日
住友共同電力株式会社

炭酸ガス製造事業について

当社は、このたび新居浜西火力発電所(石炭・バイオマス火力発電所出力合計:300,000kW)に炭酸ガス(CO₂)分離回収設備を設置することといたしました。石炭火力発電所(西火力3号機)の排ガスから分離回収したCO₂は、住友化学(株)愛媛工場で2018年に増強するメチオニン製造設備へ供給し副原料として利用されます。このように石炭を使用した火力発電所のCO₂を利用する試みは、日本初であり他に先駆けた取組みとなります。また、発電所で発生するCO₂を有効利用することで、CO₂排出量を抑制することができます。

なお、CO₂分離回収設備は新日鉄住金エンジニアリング製を導入する予定です。

日本政府は、2015年のCOP21パリ協定を受け、2030年度の温室効果ガスを2013年度比26%削減することを目標に掲げ、「次世代火力発電に係る技術ロードマップ」を策定し、CO₂回収利用(CCU:Carbon dioxide capture and utilization)技術の開発・実用化に向けて積極的な取組みを始めています。本事業は国が重点課題として推進するCCU技術に関する取組みにも合致するものです。また、国内では炭酸ガス供給源である石油精製所の統廃合や化学工場の閉鎖、海外移転などにより、全国的に炭酸ガスの確保が困難になっています。本事業のように石炭火力発電所の排ガスからCO₂を回収し有効利用することで、国内の炭酸ガス供給リスクを軽減することが可能となります。

当社は新居浜地区で住友グループ各社への電力供給を担っております。今後もCO₂排出量を抑制するため、LNG火力発電所計画やCO₂固定化など、CO₂排出量削減への取組みを積極的に推進してまいります。

- | | |
|----------|---------------------------------|
| ◆ 事業場所 | : 住友共同電力(株)新居浜西火力発電所構内(愛媛県新居浜市) |
| ◆ 生産能力 | : 約48,000トン/年 |
| ◆ 事業開始予定 | : 2018年6月 |

以上